

道徳 評価規準 【4年】

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
4月	道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にできる態度で学習することができているか。	—
4月③	1 ここまでもどってこれた、今がとっても幸せ ——池江 璃花子—— 「努力するすがたから感じるもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	池江璃花子選手が、病を乗り越え目標を達成させた姿をとおして、ひたむきに努力することに対する考えを深め、気高い姿に感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	1. 努力することについて考える。 ○何か目標に向かって努力していることはありますか。また、努力を続けることが難しいと感じたことはありますか。 2. 『ここまでもどってこれた、今がとっても幸せ』を読んで、努力する姿の美しさについて考える。 【考えよう】 ○レースのあと、池江選手の「なみだがあふれた」のは、どうしてでしょう。 ★池江選手が病気を克服し、オリンピックの代表選手に選ばれるまでに復活できたのは、どうしてでしょう。 3. 努力する姿の美しさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○目標に向かってがんばり、やり抜く姿を見ると、感動するのはどうしてでしょう。考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *努力を続けることの大切さに気づき、努力する姿にどうして感動するのかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *努力する姿の美しさを理解し、その気高さに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	体育
	2 目覚まし時計 「自分でできることは自分で」 【A 節度、節制】	1	りかの心情と行動について話し合うこととおして、自分でできることは自分ですることのよさや難しさに気づき、自分でできることは自分でしようとする心情を育てる。	1. 自立した生活について考える。 ○自分でできることを、増やすことができているか。 2. 『目覚まし時計』を読んで、自分でできることは自分ですることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が、今の自分が悲しくなったのは、どうしてでしょう。 ★「わたしのきまり」を守っていた「わたし」と、保健室のベッドで寝ている「わたし」の違いは何か、話し合しましょう。 3. 自分でできることは自分ですることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○このあと、「わたし」がよりよい生活を取り戻すためには、何が大切だと思いますか。話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分でできることは自分ですることの大切さに気づき、自分でできることを自分ですることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分でできることを自分ですることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	体育
	3 つながるやさしさ 「相手を思いやって」 【B 親切、思いやり】	1	しおりの気持ちや行動の変化について話し合うこととおして、思いやりの気持ちをつなげることのよさに気づき、自分にできることを考えて親切にしようとする判断力を育てる。	1. 思いやりについて考える。 ○優しい人とは、どのような人でしょう。 2. 『つながるやさしさ』を読んで、思いやりの気持ちをつなげることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○泣いているくみちゃんを見て、しおりはどう思ったでしょう。 ★次の日、しおりがくみちゃんに声をかけたのはどうしてか、考えて発表しましょう。 3. 思いやりの気持ちをつなげることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○優しさが「つながる」とはどういうことか、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *思いやりの気持ちをもつことの大切さに気づき、思いやりをもって優しく接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *思いやりの気持ちをつなげていくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	—

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
5月③	ユニット:じょうほうと向き合う					
	4 かわいくない? 「自分の気持ちを正しく伝える」 【A 正直、誠実】	1	千里がしたことの問題点と、このあとどうすればよいのかについて話し合うことをとおして、相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、誰に対しても誠実に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 言葉の行き違いについて考える。 ○自分の言葉が誤解されてしまったことはありますか。 2. 『かわいくない?』を読んで、相手のことを考えた言葉づかいの大切さについて考える。 【考えよう】 ○美咲の様子がおかしくなったのは、どうしてでしょう。 ★「わたし」は、どうすればよかったのか、考えて話し合しましょう。 【やってみよう】 ○千里が美咲にメールで謝った次の日、二人はどのような話をしたでしょう。千里と美咲の役になって演じてみましょう。 3. 相手のことを考え、誠実に接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○インターネットで誰かとやりとりをするときに、気をつけることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、挨拶や言葉づかいなど、相手に対して誠実に対応することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *日常生活の中で、相手に対して誠実に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、情報モラル教育
	〈コラム〉 インターネットは便利だけれど	—	『かわいくない?』で学習したことを踏まえて、インターネットで誰かとやりとりをする際に注意すべき点について理解させる。			—
5 かつこいいせなか 「すすんで働く」 【C 勤労、公共の精神】	1	ゆうだいの心情の変化について話し合うことをとおして、みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで働くこととする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなのために働くことについて考える。 ○みんなのために働いている人は、どうしてかつこいいいのでしょうか。 2. 『かつこいいせなか』を読んで、みんなのためにすすんで働くことの大げささについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」は、どうして5・6年生の動きが気になったのでしょうか。 ★しょうさんの背中を見て、「ぼく」は何がかつこいいいと思ったのでしょうか。 3. みんなのためにすすんで働くことの大げささについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○みんなのために働くことの大げささについて、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *すすんで働くことのよさを理解し、みんなのために働くことの大げささについて、自分との関わりで考えることができているか。	学校行事(運動会)	
6月④	ユニット:いじめをなくす					
	6 ほっとけないよ 「見て見ぬふりはしない」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ゆかさんを放っておけなかった「わたし」の考えや行動について話し合うことをとおして、正しい判断と行動をすることの大げささについて考え、正しいことをやり遂げようとする判断力を育てる。	1. 友達に言い出せなかった経験がないか想起する。 ○友達に対しても、「言いづらいな」と感じたことはありますか。 2. 『ほっとけないよ』を読んで、正しい判断と行動をすることの大げささについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が、すぐにゆかさんに声をかけられなかった理由を話し合しましょう。 ★声をかけられなかった「わたし」と、声をかけた「わたし」の違いは何でしょう。 3. 正しい判断と行動をすることの大げささについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正しいことをすると、どのような気持ちになりますか。また、正しいと思っていても、できないのはなぜでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *正しいと思ったことは自信をもって行うことの大げささに気づき、正しいと思ったことを行うことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことを判断して、正しいと思ったことを行うことの大げささについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	7 プロレスごっこ 「いじめをゆるさない心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	えみの行動とクラスの変化について話し合うことをとおして、誰に対しても差別したり、偏見をもったりすることなく、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。	1. 休み時間の過ごし方について想起する。 ○休み時間は、どのように過ごしますか。 2. 『プロレスごっこ』を読んで、いじめが起きたときにどうすればよいかについて考える。 【問題を見つける】 ○このクラスの問題点はどこか、考えて話し合しましょう。 【解決方法を考える①】 ○このクラスでは、どうしていじめが起きてしまったのでしょうか。 【解決方法を考える②】 ○自分がこのクラスの一人だったら、どうしたいか、発表しましょう。 【考えたことを生かす】 ○自分のクラスでは、どのようなクラスを目標にしたいですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *差別や偏見に対する考えを深め、いじめが起きたときにどう解決すればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *差別や偏見がいじめにつながることを理解し、分け隔てなく接することの大げささについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
〈コラム〉 いじめをなくすためにできること	—	『ほっとけないよ』や『プロレスごっこ』で学習したことを踏まえて、いじめ問題の難しさに気づき、いじめをなくすためにどうすればよいかを考えさせる。			—	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	8 雨のバスでいりゆう所で 「きまりがある理由」 【C 規則の尊重】	1	よしさんの行動について話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに気づき、きまりを大切に生活していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. きまりについて考える。 ○きまりは、誰が決めたのでしょうか。 2. 『雨のバスでいりゆう所で』を読んで、きまりを大切に生活することの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○お母さんの横顔を見ていたよしさんは、何を考えていたのでしょうか。 【解決方法を考える①】 ○自分がよしさんだったら、どうしますか。考えを発表しましょう。 【解決方法を考える②】 ○どうすれば、このような問題はなくなるといいますか。 【考えたことを生かす】 ○日常生活に生かしたいことはありますか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *きまりの意義やきまりを守ることの大切さに気づき、きまりを守ることに ついて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *きまりを守ることの大切さについて、なぜ大切なのかを自分との関わりで考えることができているか。	—
7月②	9 どう言えばいいのかな 「相手のことを気づかって」 【B 礼儀】	1	いろいろな断る場面について体験的に学ぶことをとおして、相手を気づかって言葉を選ぶことの大切さに気づき、誰に対しても真心をこめて接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 言葉づかいや伝え方について考える。 ○伝え方をまちがえて失敗したことはありますか。 2. 『どう言えばいいのかな』を読んで、相手を気づかって言葉を選ぶことの大切さについて考える。 ○幸司が、良平に断る場面を演じてみましょう。 ○あさひが、真一に断る場面を演じてみましょう。 3. 真心をこめて接することの大切さについて確かめる。 ★断る返事をするときには、どのようなことに気をつけるといいでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *相手を気づかって言葉を選ぶことの大切さに気づき、誰に対しても真心をこめて接することについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *誰に対しても真心をこめて接することの大切さについて、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができているか。	—
	10 守りたい自分のじょうほう 「自分のじょうほうを守る」 【A 節度、節制】	1	あきらの行動の問題点について話し合うことをとおして、自分で正しく判断することの難しさや自分のじょうほうを守ることの大切さに気づき、安全に気をつけてよく考えて行動しようとする判断力を育てる。	1. インターネットの利用と個人情報について考える。 ○自分には、どのような情報があるのでしょうか。 2. 『守りたい自分のじょうほう』を読んで、安全に気をつけることの大切さと難しさについて考える。 【考えよう】 ○あきらは、どうして怖くなったのでしょうか。 ★あきらは、どのようなことに気をつければよかったのか、考えて話し合しましょう。 3. 自分で正しく判断することの難しさや自分の情報を守ることの大切さを確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の情報を守るために大切なことは何か、考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○普通の生活の中で、自分の情報を教える場面がありますか。そのときには、どのようなことに気をつけますか。話し合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の情報を守ることの大切さと、正しい判断をすることの難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *安全に気をつけ、自分の情報を守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	情報モラル教育
9月③	11 心と心のあくしゅ 「本当のやさしさとは」 【B 親切、思いやり】	1	「心と心のあくしゅ」とはどのようなことかについて話し合うことをとおして、本当の親切とは何かを考え、相手のことを思いやろうとする判断力を育てる。	1. 親切にするとは何かについて考える。 ○「親切」って、どのようなことでしょうか。 2. 『心と心のあくしゅ』を読んで、本当の親切とは何かについて考える。 【考えよう】 ○おばあさんに声をかけた「ぼく」は、どのような気持ちだったでしょうか。 ★「声をかけたぼく」と「後ろをついて歩いたぼく」の、同じところと違うところはどこでしょうか。考えて話し合しましょう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。 3. 親切な行いには、相手のことを思う気持ちが大切だということについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○親切にするときに、大切なことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *親切とは何かということについて理解を深め、相手のことを思って行動するとはどのようなことか、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *相手のことを思いやる気持ちの大切さを理解し、すすんで親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	総合的な学習

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	12 また、試合しようね 「大切なれいぎ」 【B 礼儀】	1	よしあき君の話聞いて、「ぼく」がどう変わったのか話し合うこととおして、礼儀の大切さに気づき、誰に対しても真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 礼儀について考える。 ○スポーツやゲームなどで誰かに勝ったとき、どう感じますか。 2. 『また、試合しようね』を読んで、真心をもって接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○よしあき君のお兄さんの話を聞いて、「ぼく」は何を考えたのか、話し合しましょう。 ★1か月後の試合のあと、「ぼく」はなぜ、「また、試合しようね。」と言ったのでしょうか。 3. 相手のことを考えて礼儀正しく接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○相手の気持ちを考えて行動すると、どのようないいことがあるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい接し方について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 誰に対しても真心をもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	13 命 ——せいっぱい生きる—— 「大切な命」 【D 生命の尊さ】	1	由貴奈さんが考える「命」について話し合うこととおして、一つしかない命の尊さに対する考えを深め、精いっぱい生きようとする心情を育てる。	1. 生きるといことについて考える。 ○「せいっぱい生きる」って、どういうことでしょうか。 2. 『命』を読んで、生命の尊さについて考える。 【考えよう】 ○由貴奈さんの詩を読んで、心に残ったことはなんですか。発表しましょう。 ★由貴奈さんにとって「命」とはなんだったのか、考えて話し合しましょう。 3. 精いっぱい生きることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「せいっぱい生きる」とはどういうことか、自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命の尊さに対する理解を深め、「生きること」や「命」について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 命の大切さを理解し、「せいっぱい生きること」について、自分との関わりで考えることができるか。	国語、理科
10月④■	14 だまっていればわからない 「正直でいることの大切さ」 【A 正直、誠実】	1	「ぼく」の立場になって演じてみて、体験的に学ぶこととおして、正直であることの大切さに気づき、過ちや失敗は素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 過ちを犯したときのことを考える。 ○悪いことをしたのに、黙っていてどきどきしたことはありませんか。 2. 『だまっていればわからない』を読んで、過ちは素直に改めるといこと大切さについて考える。 ○心の中の自分との話し合いを演じてみましょう。 ○「ぼく」になって、おばあさんに謝ってみましょう。 3. 正直に明るい心で生活することの大切さについて確かめる。 ★みんなが気持ちよく生活するためには、どのようなことに気をつけなければいいでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正直に明るい心で生活することについて理解を深め、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 正直であることの大切さを理解し、うそや偽りのない明るい生活をしようとするについて、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができるか。	—
	15 ティーボールのできごと 「自分のよさをのびす」 【A 個性の伸長】	1	「ぼく」が自分のよさに気づくことができた理由について考えることとおして、自分の個性や長所に気づき、それを伸ばしていくこととする実践意欲と態度を育てる。	1. 長所について考える。 ○自分のよさや、友達のよさについて考えてみましょう。 2. 『ティーボールのできごと』を読んで、自分の個性や長所に気づき、それを伸ばすこと大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「ぼく」は自分の「よさ」について考えたのでしょうか。 ★どうして「ぼく」は自分の「よさ」を見つけることができたのか、話し合しましょう。 3. 個性や長所を伸ばすこと大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「ぼく」は、どうして自信をもてたのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分の個性や長所に気づき、自分の個性や長所を伸ばすこと大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 自分の個性や長所を自覚し、積極的に伸ばしていくこと大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	体育
	16 泣いた赤おに 「友達を大切に」 【B 友情、信頼】	1	青おにが、赤おにのことを思ってた行動や、それに気づいた赤おにの気持ちについて考えることとおして、友達のことを思い、助け合っていくことよさに気づき、友達とよい関係を築いていくこととする心情を育てる。	1. 友達について考える。 ○友達を大切にしていますか。 2. 『泣いた赤おに』を読んで、友達と助け合うことよさについて考える。 【考えよう】 ○青おには、どうして赤おにのために協力したのか、考えて話し合しましょう。 ★赤おには、どうして涙を流したのでしょうか。考えを発表しましょう。 3. 友達とよい関係を築くこと大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○友達とよりよい関係をつくっていくためには、どのようなことが大切でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達のことを思い、助け合っていくことよさに気づき、友達とよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 友達のことを大切にし、よい関係を築いていくこと大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
11月 ④	17 学校のれきし 「感謝の心」 【B 感謝】	1	ひかるたちの感謝の気持ちについて考えることをとおして、自分の生活がたくさんの人たちに支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	1. 感謝の気持ちについて考える。 ○人に「ありがとう」と言いたくなるときは、どのようなときですか。 2. 『学校のれきし』を読んで、自分の生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○学校や学校への歩道が、地域のかたがたの力で作られたものであることを知ったとき、教室中が大騒ぎになったのはどうしてでしょう。 ★みんなが、感謝の気持ちをいっぱいこめて挨拶したのは、どうしてでしょう。 3. 自分の生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○感謝の気持ちを伝えたい人はどのような人か、考えて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の生活が多くの人たちによって支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分の生活を支えてくれる多くの人たちに感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、防災教育
	18 学校のじまんを大切に 「よりよい学校のために」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	学校の自慢を大切にしていきたいという「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、自分の学校のよさに気づき、よりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 学校の自慢について考える。 ○みんなが思う、学校の自慢はなんですか。 2. 『学校のじまんを大切に』を読んで、よりよい学校をつくっていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が傘をきれいに揃えて入れられない子に声をかけるようになったのは、どうしてでしょう。 ★校長先生のお話を思い出して、「わたし」はどのようなことを考えたでしょう。 3. みんなで協力し合って、よりよい学校やクラスをつくることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分たちのクラスの自慢にはどのようなことがあるか、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分たちの学校をよりよくしていくために、どのようなことをしたいですか。発表してみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の学校のよさに気づき、より楽しい学校をつくることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分の学校のよさを理解し、よりよい学校をつくっていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	19 絵はがきと切手 「友達だからこそ」 【B 友情、信頼】	1	「友達」に対するひろ子の母と兄の考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達とのよりよい関係のあり方について考えを深め、友達と信頼し、助け合おうとする心情を育てる。	1. 友達を信頼することについて考える。 ○友達だからこそ、できることとはどのようなことでしょうか。 2. 『絵はがきと切手』を読んで、友達と信頼し、助け合うことのよさについて考える。 【問題を見つける】 ○ひろ子は何に迷っていたのでしょうか。また、そのときの気持ちを考えて話し合しましょう。 【解決方法を考える①】 ○自分だったら、正子さん宛ての手紙をどのように書きますか。 【解決方法を考える②】 ○ひろ子の手紙を読んで、正子さんはどう思うでしょう。 【考えたことを生かす】 ○友達とよい関係でいるために、何が大切なのでしょう。考えを発表しましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *本当の友達というものに対する考えを深め、友達とよりよい関係を築くことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *友達と信頼し、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、書写
12月 ③	20 人によって態度を変えるのはだめ？ 「公正・公平な態度でせつする」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人によって態度を変えることについて考えることをとおして、公平とは何かについて理解し、好き嫌いにとらわれず、公正・公平な態度でいるためにできることは何か、考えようとする判断力を育てる。	1. 公正・公平な態度について考える。 ○相手によって態度が変わる理由は何だと思いますか。 2. 『人によって態度を変えるのはだめ？』を読んで、好き嫌いにとらわれず、分け隔てなく接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○人によって態度が変わってしまうのは、どのようなときか、発表しましょう。 ★好き、嫌いなどによって態度を変えてはいけぬのは、どうしてでしょう。 3. 公正・公平な態度でいることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○人と接するとき、大切にしないといけないことは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *公平とは何かについて理解を深め、公正・公平な態度でいるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *分け隔てなく接することの大切さを理解し、公正・公平な態度で接することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	—
	＜コラム＞ ◆だれもが安心して生活できる社会に		『人によって態度を変えるのはだめ？』で学習したことを踏まえて、バリアフリーの設備やサポートの例を知り、自分の身のまわりでは、さまざまな立場の人にも公平に、安心して生活できるような工夫がされていることに関心をもたせる。			福祉教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	21 おばあちゃんとの思い出 「つながり、ささえ合う命」 【D 生命の尊さ】	1	つよしのおばあちゃんが残してくれたものについて話し合うことをとおして、命が周りの人に支えられていることに気づき、命を大切に生きていくとする心情を育てる。	1. 家族との思い出について考える。 ○大切にしている、家族との思い出はありますか。 2. 『おばあちゃんとの思い出』を読んで、命が周りの人によって支えられていることについて考える。 【考えよう】 ○おばあちゃんが亡くなったとき、つよしの涙が止まらなかったのはどうしてか、考えて話し合おう。 ★これからつよしは、どのようなときにおばあちゃんのことを思い出すでしょう。 3. 命を大切に生きていくことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○あなたを支えてくれる、大切な思い出はなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命の大切さに気づき、命が周りの人によって支えられているということについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 自分の命は多くの人たちによって支えられているということについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	22 オムライス 「家族でささえ合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	「ぼく」に対するお母さんの思いについて考えることをとおして、家族みんなで協力し合うことのよさに気づき、家族と協力し合って楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。	1. 家族でささえ合うとはどういうことか考える。 ○「家族でささえ合う」とは、どのようなことでしょうか。 2. 『オムライス』を読んで、家族で協力し合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○たけるは、お父さんと夕ご飯を作ったり、洗濯物を畳んだりしながら、どのようなことを考えていたでしょうか。 ★お母さんとそらが病院から帰ってきたとき、たけるはどうしたでしょうか。 3. 家族と協力し合って楽しい家庭をつくることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分にとって家族とはどのような存在ですか。また、これからどのように関わっていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族と協力し合うことのよさに気づき、家族への愛情や家族のよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 家族のよさについて理解し、家族と協力し合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
1月③	23 見方を変えて前向きに 「正しいことはむねをはって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	「ぼく」がA君の行いに注意することができたのはなぜか考えることをとおして、正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さを理解し、自らもそうしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 正しいことを行うことの難しさについて考える。 ○正しいとわかっていても、できなかったことはありますか。 2. 『見方を変えて前向きに』を読んで、正しいことは自信をもって行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○A君がその場にごみを捨てていたのを見て、「ぼく」はどうして注意できなかったのか、考えを發表しましょう。 ★「護美箱」の意味を知る前と、知った後で、「ぼく」のごみに対する考え方はどう変わったのでしょうか。 3. 正しいことは自信をもって行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○どうして美しさを「護る」ことが大切なのでしょう、考えて話し合おう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正しいと判断したことを行うことの大切さに気づき、自信をもって行うためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 正しいと判断したことは自信をもって行うことのよさを理解し、どのように実践していくか、自分との関わりで考えることができるか。	—
	24 ○○のくせに 「相手とわかり合って」 【B 相互理解、寛容】	1	実里と勇太の関係について考えることをとおして、相手のことを理解することの大切さに気づき、相手への理解を深めようとする心情を育てる。	1. 相手とわかり合うことについて考える。 ○「○○のくせに」と言われたことはありますか。 2. 『○○のくせに』を読んで、相手を理解することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○実里と勇太は、どうして仲直りができたのでしょうか。 ★どうして、「○○のくせに」がだめなのか、考えを發表しましょう。 3. 相手への理解を深めることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「○○のくせに」と言われたり、言ってしまったことがありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 相手のことを理解することの大切さに気づき、相互に理解し合ってよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 相手のことを理解することの大切さについて考え、よりよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。	体育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
ユニット：日本のよさ 世界のよさ						
	25 赤飯 「日本の文化に親しむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	日本の食文化である赤飯について考えることをとおして、わが国や郷土の文化について関心をもち、それらを大切にしていきたいという心情を育てる。	1. 赤飯について考える。 ○赤飯を食べたことはありますか。どのようなときに食べましたか。 2. 『赤飯』を読んで、わが国や郷土の文化を大切にすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○赤飯が、今も食べ続けられているのはどうしてか、考えて話し合しましょう。 ★「わたし」は、赤飯が日本の伝統の食べ物だとわかって、どうしてうれしかったのでしょうか。 3. わが国や郷土の文化を大切にすることの重要性について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○赤飯は、日本の伝統文化であって、同時に、地域によっていろいろな違いがあります。日本や地域の伝統の食べ物で、好きなものとその理由を発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 国や郷土の文化を大切にすることの重要性に気づき、それらを大切にすることはどういうことか、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国や郷土の文化について考えを深め、どのように大切にしていけるかについて、自分との関わりで考えることができているか。	体育、外国語活動、伝統文化教育、食育
2月④■	26 世界の子どもたちのために 「世界の人々に目を向けて」 【C 国際理解、国際親善】	1	マーサちゃんの行動について話し合うことをとおして、日本と他国の文化の違いがあることに気づき、世界の人々や文化への理解を深めようとする心情を育てる。	1. 世界の人々の暮らしについて考える。 ○日本とは違う、他の国の生活について、知っていることはありますか。 2. 『世界の子どもたちのために』を読んで、世界の国々に関心をもち、理解することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○マーサちゃんの行動の中で、特にすごいと思うところはどこか、考えを発表しましょう。 ★マーサちゃんはどうしてこのような行動をとることができたのでしょうか。 3. 世界の国々に関心をもち、理解することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○マーサちゃんから学んだことを、自分の行動にどのように生かしていけるか、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 世界を知ることの大切さに気づき、世界の国々を理解することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 世界を知ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	総合的な学習、国際理解教育
	〈コラム〉 世界のお祝い料理	—	『赤飯』や『世界の子どもたちのために』で学習したことを踏まえて、他国の文化に親しむことのよさを知ることで、他国に対する理解や親しみをもち、あわせてわが国の文化への親しみを深めるとともに、わが国の文化を伝えていくことの大切さに気づかせる。			社会
	27 受けつがれてきた命 ——屋久島三代杉—— 「自然のすばらしさ」 【D 自然愛護】	1	屋久島三代杉の美しさや不思議さについて話し合うことをとおして、自然の偉大さに気づき、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	1. 自然のすばらしさについて考える。 ○自然の力を感じたことはありますか。それはどのようなときですか。 2. 『受けつがれてきた命』を読んで、自然のすばらしさを感じ取ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」が、三代杉の幹に触れてみたときに感じた不思議な気持ちとは、どのような気持ちでしょうか。 ★三代杉のすばらしさについて話し合しましょう。 3. 自然を大切にすることの重要性について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○身のまわりにある植物がもつ力のどのようところが、すばらしいと思いますか。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自然や植物の美しさや不思議さに気づき、自然や植物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自然や植物のすばらしさを理解し、自然や植物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	理科
	〈コラム〉 ◆日本の「世界自然遺産」		『受けつがれてきた命』で学習したことを踏まえて、世界自然遺産に登録されている日本の地域のことを知り、自然のすばらしさについて関心をもたせる。			理科、社会
	28 わかってくれてありがとう 「わかり合えるうれしさ」 【B 相互理解、寛容】	1	互いの考えを交流させた「わたし」とまさどさんについて話し合うことをとおして、互いに理解し、尊重し合うことのよさに気づき、自他の意見を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 「わかり合うこと」について考える。 ○人とわかり合うためには、何が大切だと思いますか。 2. 『わかってくれてありがとう』を読んで、互いに理解し、尊重し合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○みんなが話を聞こうとしてくれなかったとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょうか。考えて話し合しましょう。 ★「わたし」が、もう一度発表したのは、どのようなことを考えたからでしょうか。 3. 互いに理解し、尊重し合うことのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○みんなとわかり合えるクラスにしていけるために、自分には何ができるでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達の意見を尊重することの大切さに気づき、自分と違う意見について理解することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 友達の意見を尊重することの大切さを理解し、互いにわかり合うために大切なことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
3月②	29 ブラッドレーのせいきゆう書 「家族のためにできること」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	請求書にこめられたお母さんの思いについて話し合うことをとおして、家族の大切さに気づき、自分が家族のためにできることを考えて役立とうとする判断力を育てる。	1. 家族のためにしていることについて考える。 ○家族のために、どのようなことをしていますか。 2. 『ブラッドレーのせいきゆう書』を読んで、家族のためにできることについて考える。 【問題を見つける】 ○ブラッドレーは、どのような思いでお母さんのところへ走っていったのでしょうか。 【解決方法を考える①】 ○自分がお母さんの立場なら、ブラッドレーの書いた紙を見て、どう思うでしょう。 【解決方法を考える②】 ○自分がブラッドレーなら、どうしますか。考えを発表しましょう。 【考えたことを生かす①】 ○家族とは、何でつながっているのでしょうか。 【考えたことを生かす②】 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族の大切さに気づき、家族のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *家族の大切さを理解し、家族のために何ができるかについて、自分との関わりで考えることができていますか。	—
	30 ゆうびんの父 ——前島 密—— 「目標に向かってやりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	前島密のすごいところについて話し合うことをとおして、目標に向かってやり抜くことの大切さに気づき、自分の目標に向かって努力しようとする心情を育てる。	1. 郵便の仕組みについて考える。 ○手紙のやりとりをしたことはありますか。ポストに入れれば、どこにでも届けてくれる「ゆうびんの仕組み」は、誰が作ったのでしょうか。 2. 『ゆうびんの父』を読んで、目標に向かって努力することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○佐々木荘助は、どうして前島密に協力することにしたのでしょうか。 ★新しい郵便の仕組みを作った密の、特にすごいところは、どこだと思えますか。 3. 目標に向かって努力することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○目標に向かってやり抜くために、大切にしたいことはなんですか。自分の考えを発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○密のように、目標に向かってがんばりたいことはありますか。	【多面的・多角的に考える】 *努力することの大切さに気づき、目標に向かって努力することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *目標に向かってやり抜くことのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。	社会
適時	31 十さいのプレゼント 「言葉では表しきれない感動」 【D 感動、畏敬の念】	1	プレゼントにこめられていた父の思いについて話し合うことをとおして、身のまわりに美しいものがあることや美しいものに感動することがあることに気づき、美しいものや気高いものに感動する心をもとうとする心情を育てる。	1. 感動した経験について想起する。 ○自然の美しさや不思議さに、驚いたり、感動したりしたことはありますか。 2. 『十さいのプレゼント』を読んで、美しいものや気高いものに感動することのよさについて考える。 【考えよう】 ○空の色がだんだん変わっていくのを見たとき、「わたし」はどのような気持ちだったのでしょうか。 ★お父さんは、どうして「わたし」にこのプレゼントをあげたかったのでしょうか。 3. 美しいものや気高いものに感動することのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自然の美しさなどを見て、心を動かされるのはどうしてでしょうか。美しいものに感動した体験を思い出して発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *美しいものや美しいものに感動することのよさに気づき、美しいものに感動する心について、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *身近な美しいものに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。	国語
適時	32 いつも心に「ファイト！」 「ありがとうの気持ちをもって」 【B 感謝】	1	あきらが、自分を支えてくれている人たちに感じた感謝の気持ちについて考えることをとおして、日頃から世話をしてくれている家族や、生活を支えてくれている人々への感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	1. 感謝の気持ちについて考える。 ○感謝の気持ちをもっている相手はいますか。 2. 『いつも心に「ファイト！」』を読んで、生活を支えてくれている人々に感謝の気持ちをもつことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」はどうして、「ありがとう。」と思ったのでしょうか。考えを発表しましょう。 ★「ぼく」はどうして変わったのでしょうか。 3. 生活を支えてくれている人々に感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分を支えてくれている人に対して、自分には何ができるか考えて、話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *感謝の気持ちをもつことに対して理解を深め、日頃から世話をしてくれている人々への感謝の気持ちを表すにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *日頃から、家族や身のまわりの人々に支えてもらっていることを理解し、身のまわりの人に感謝することについて、自分との関わりで考えることができていますか。	社会参画教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	33 日本人の手でオルガンを ——山葉 寅楠—— 「ねばり強くやりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	目標に向かってがんばる人や応援してくれる人について話し合うことをとおして、目標を実現するためには周りの人の励ましも大切であることに気づき、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	1. 努力して、つらさを感じた経験を想起する。 ○目標に向かってがんばっていたけれど、途中で諦めてしまったことはありますか。 2. 『日本人の手でオルガンを』を読んで、粘り強くやり抜くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○山葉寅楠は、なぜ最後まで諦めることなく、オルガンを作り続けることができたのでしょうか。考えて話し合しましょう。 ★寅楠のような生き方を、どう思いますか。 3. 粘り強くやり抜くことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○がんばり続けるときに、大切なことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○寅楠のように、努力を続けていきたいことはありますか。考えてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *努力することの大切さに気づき、目標達成のために支え合うことよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *目標実現のために他者と関わり合いながら向上していくことよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、音楽
適時	34 タイガとココア 「生き物を大切にすること」 【D 自然愛護】	1	タイガとココアの姿や動物園の職員の思いについて話し合うことをとおして、動植物の命のいとおいさに気づき、動植物を大切にしようとする心情を育てる。	1. 自然や動植物について考える。 ○自然や動植物の大切さを感じたことはありますか。それはどのようなときでしたか。 2. 『タイガとココア』を読んで、自然や動植物を大切にすることよさについて考える。 【考えよう】 ○教材を読んで、「いいな、すごいな。」と思ったところを発表しましょう。 ★どうして多くの人が、タイガとココアを大事にしたのでしょうか。 3. 自然や動植物を大切にすることよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自然や動物を大切にするために、自分ができるとはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自然や動植物を大切にすることよさに気づき、自然や動植物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自然や動植物のすばらしさを理解し、自然や動植物を大切にすることよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
適時	35 やっべし 「地いきでのふれ合いを大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	東日本大震災後にボランティアに行った「先生」の体験と思いについて話し合うことをとおして、地域を大切にすることよさに気づき、伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域との交流について考える。 ○自分の住んでいる地域の活動に参加したことはありますか。 2. 『やっべし』を読んで、地域の伝統や文化を大切にすることよさについて考える。 【考えよう】 ○ボランティア体験を終えたとき、先生はどのようなことを考えていたのでしょうか。 ★ボランティア体験をきっかけに、先生が変わったのはなぜか、話し合しましょう。 3. 地域の伝統や文化を大切にすることよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○先生がいちばん伝えなかったことはなんですか。考えてまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○最近ではどこでどのようなボランティアが活躍していますか。調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *郷土や伝統・文化を守ることよさに気づき、郷土や伝統・文化を大切にすることよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *わが国や郷土を愛し、地域を大切にすることよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	総合的な学習、防災教育、伝統文化教育、地域行事
適時	【資料】 節度をもって、落ち着いた行動を	適時	いらいらした気持ちをそのまま人にぶつけることで、相手を嫌な気持ちにさせてしまわないよう、気持ちを落ち着かせて行動することの大切さを理解し、日常生活のさまざまな場面に生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 *気持ちを落ち着かせて行動することよさに気づき、自分の気持ちをコントロールすることよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *気持ちを落ち着かせて行動することよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	—	
適時	学習をふり返ろう	適時	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	*心に残った話(教材)とそれを選んだ理由をまとめることができるか。 *一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	—	